

図書館だより No.1

2020年4月発行
島根県立大田高等学校
図書館

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの3年間を有意義なものにしていきましょう。そのためには、図書館を上手く活用する力が大切になってくると思っています。AIに代表されるテクノロジーはめまぐるしい勢いで進化し続けていますが、人間の本质は時代が変わっても変わらないと言えます。時代の変化に対するアンテナを常に張りつつ、読書によって読解力を養うという昔ながらのアナログなやり方も大事にしてほしいと願っています。皆さんの3年間をとおしての成長を期待しています。頑張ってください。

NEW BOOKS



(100) その悩み、哲学者がすでに答えを出しています 小林昌平(著)

「将来、食べていけるか不安」(アリストテレスが答えを出しています)「やりたいことはあるが、行動に移す勇気がない」(デカルトが答えを出しています)「やりたいことがない。毎日が楽しくない」(道元が答えを出しています)どんな答えを各哲学者たちが出しているかは本書を確認してください!

(124) Tao老子の教え あるがままに生きる 安富歩(著)

二千数百年前に書かれた中国の古典『老子』。この本には、具体的な人名や地名が全く出てきません。書名の意味は、「老子」という人が書いた本という訳ではなく、この本が一人の思想家によって書かれたと考え、その人を仮に「老子」と呼んでいるに過ぎません。抽象的議論が書かれた本ですが、現代の欧米の知識人の興味を強く惹きつけ、広く読まれています。



(334) 2050年世界人口大減少 ダリル・ブリッカー、ジョン・イビットソン(著); 倉田幸信(訳)

国連の人口予測よりも早い2050年頃から人類史上初めて世界の人口が減少局面に入る、と著者。減少し始めると二度と人口は増加せず、今後は減少し続ける一方だと予測します。教育水準が上がり、経済的に発展した国は都市化が進むため、子どもの存在が「負債」となり、人々は子どもを産まなくなる。先進国も発展途上国も一様にこの流れを辿り、少子高齢化が加速するのだそうです。その先頭を走る日本はまさに世界の課題先進国とも言われています。では、解決策はあるのでしょうか?

(366) 薬剤師になるには 井手口直子(著)

旧版『薬剤師になるには』が改訂されました。薬学部への進学を考えている人は絶対に抑えておいてほしい内容が満載です。薬局や病院以外でも広く地域に飛び出して活躍する薬剤師という仕事の魅力に迫ります!



(391) 独ソ戦 絶滅戦争の惨禍

大木毅(著)

2019年新書大賞第1位!世界史選択の人は特にオススメ!1941年6月22日、ナチス・ドイツは独ソ不可侵条約を破って、ソヴィエト連邦に侵攻します。以降、1945年まで続いた独ソ戦。日本人には実感しにくい第二次世界大戦のもう一つの顔をドイツと旧ソ連の戦いを通して改めて考え直してみましよう。



(413) 難しい数式はまったくわかりませんが、微分積分を教えてください!

たくみ(著)

著者のたくみさんは、「予備校のノリで学ぶ大学の数学・物理」という教育系YouTubeチャンネルを運営しています。分かりやすく数学の公式や物理の理論を解説してくれる動画だと評判です。数学が苦手な人は本書を読んで微分積分の基礎を学んでみましょう!



(779) 国策落語はこうして作られ消えた

柏木新(著)

1931(昭和6)年9月18日に勃発した満州事変以降、日本の戦争遂行を礼賛する「国策落語」が盛んに作られるようになります。権力に反骨精神で立ち向かうのではなく、露骨に権力に擦り寄ることで生き延びようとしたのです。残された作品からは、当時の落語家たちの苦悩が読み取れます。「戦争と落語」という新たな観点から落語を捉え直してみませんか?



(913.6) 次期風紀委員長の深見先輩は間違いなく病気

稲井田そら(著)

小説投稿サイト「小説家になろう」に投稿された原稿を基にして書籍化されました。大ベストセラーになった住野よるさんの『君の隣をたべたい』が好きな人は本書も気に入ると思います。ラブコメ青春小説です。

(コミック) 私のかんもくガール しゅべりたいのにしゅべれない場面緘黙症のなんかおかしな日常

らせんゆむ(著)

皆さんは「場面緘黙(かんもく)症」という言葉を聞いたことはありますか?「家では普通に話せるのに、学校や会社などの場で何故か何も喋れなくなる」症状です。医学的・心理学的に場面緘黙症のことを広く正確に知ってもらうための臨床心理士による解説付きコミック・エッセイ。

